



▲門川の井戸

地域の貴重な  
水源として

引野学区

遊歩一景

# 東部いれこみ情報

学習情報紙

No.275

8月号

2024年(令和6年)8月1日

発行 東部地域振興課

住所 〒721-0915 福山市伊勢丘 6-6-1

電話 940-2574 FAX 947-5658

カラーは 福山市東部地域振興課

ホームページで 検索・二次元コード



YouTube・トーチューブ

考え合ってみませんか  
アンコンシャス・バイアス

国道2号梶島山交差点の南に「梶島山」があります。干拓前は海の中の「梶島」という小島でした。

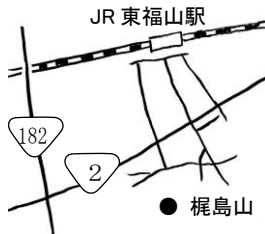
梶島山周辺にはたくさんの井戸があります。写真にある「門川の井戸」は、江戸時代にこの地にいち早く居を構えた太田氏の井戸でしたが、明治の初めに地域共有の井戸となりました。

干拓地であったため、この地域の井戸のほとんどは塩気が多く、飲み水にはなりませんでした。

「門川の井戸」は、梶島山では数少ない飲み水で水量も豊かであったため、多くの人がこの水を利用してきていました。その他の生活用水は、自宅の塩気混じりの井戸水や用水路の水を利用していました。

その後、水道が敷設されるまで、梶島山周辺には60本以上の井戸がありましたが、現在は30本以下となっています。

そのほとんどが使われていませんが、災害時に住民生活を支える貴重な水源になるのではないかと見直されてきています。



「アンコンシャス・バイアス」とは、無意識の思い込み・偏見という意味で、昨年度は、ACジャパンの公共広告でもテーマに取り上げられました。

東部地域振興課では、6月に実施した企画展の展示物を中心に動画編集を行いました。音声は広島大学附属福山中・高等学校放送部のみなさんにご協力をいただき収録を行いました。どうぞご覧ください。

〈配信〉8月6日(火)9:00~

- 動画サイト YouTube
- チャンネル YouTube.F
- 問い合わせ先 東部地域振興課

電話：084-940-2574

FAX：084-947-5658

メール： ↓ ↓ ↓

toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



桜坂ギャラリー 企画展

## 「戦災跡福山城」 ～福山空襲の傷跡～

●期間 8月1日(木)

～8月31日(土)

●場所 東部市民センター 2階ロビー

福山城には、現在でも79年前の戦争の傷跡が残っています。

私たちにとって身近な存在である福山城に残る戦争の傷跡について知り、過去の悲惨な戦争を振り返り、命の尊さと平和の大切さについて考えてみませんか。

主催・問い合わせ先 東部地域振興課

電話 084-940-2574

FAX 084-947-5658



## ～春日学区 地域の困りごと、お悩み～ **有害鳥獣対策講座が開催されました**

春日学区まちづくり推進委員会は、(株)野生動物保護管理事務所 広島事務所の壇上理沙さんを講師に迎え、「有害鳥獣による農作物被害や家屋への侵入等の対策」をテーマに講座を開催しました。

壇上さんは、事前に学区内の調査を行い田畑の現状の写真を皆で共有しました。また、参加者からの「鳥に果樹を食べられて困る」「耕作放棄地があり草むらがイノシシのヤブ（隠れ場所）になるかが不安」などの質問に対し



「春日学区内の有害鳥獣の痕跡の分布です」

て、地域の困りごとなどの解決策を多く提案していただきました。

参加者は、「山にいるイノシシをいくら処分しても、実際に農作物に被害を出しているイノシシを処分しなくては被害は減りません」など明確なアドバイスが多く「わかりやすかった」と喜ばれていました。

最後に壇上さんは、「皆さんの意識が高いことがよくわかりました。今後も個人でできる対策と地域で協力し合っている対策の両方で、取り組んでいてください」と話されました。



「田畑の柵は、常に点検してくださいね」

## TouTube のナレーション 広島大学附属福山中・高

8月から配信するTouTube「アンコンシャス・バイアス」のナレーションを広島大学附属福山中・高等学校の放送クラブに担当していただきました。

放送クラブは中学生と高校生と一緒に活動しており、日頃は昼休みの校内放送や体育祭など行事の放送係をしています。

今回ナレーションを担当した中学生は、収録は初めてということで、いつもと勝手が違うこともあったと思いますが、原稿をしっかりと読み込んで収録に臨んでくれました。

収録したアンコンシャス・バイアスのエピソードの中では、今後の進路選択のこともあり、「リケジョ」（進路で理系に進んだ女性）が特に身近なものとして感じられたようです。



ナレーションにあたって意識したことを尋ねたところ、「一番伝えたいことは何かを考えた」「目の前に相手がいて、その人が想像できるような読み方を心がけた」と話してくれました。（※ p.1、p.4に関連記事）

## 伊勢丘交流館

### 夏休み子ども企画

#### 「まつながまるっとプロジェクト」応援 ティッシュアートのばら

【日時】8月22日(木)

14時～15時

【会場】伊勢丘交流館 会議室

【内容】大きな下駄をティッシュアートの  
ばらで埋め尽くそう。

色水で色をつけると、まるで本物！  
つくったばらは、『まつながまるっと  
プロジェクト』に届けます。

【対象者】小学1年生～6年生、  
中学生、高校生

【講師】本多 晴翔さん

高校2年生

(まつながまるっとプロジェクト)

【定員】30人

【参加費・材料費】なし

【持参物】はさみ、汚れてもいい服装、  
飲み物

【申し込み】伊勢丘交流館

【問い合わせ】伊勢丘交流館

【電話】(084)947-0511

【その他、注意事項など】

・まちパス25P対象

・参加者には第20回世界バラ会議  
福山大会記念シールを配布します。

【申し込み・問い合わせ先】伊勢丘交流館 084-947-0511

## 東部図書館からのお知らせ

### 展示「半世紀のニューヨーク・ 野田正明のせかい ～過去、現在、未来～」

【期間】8月21日(水)

～9月16日(月)

【場所】東部図書館 1階フロア

【内容】野田正明の現在に至るまでの作品  
展示。未発表作品も展示。

### なつのおはなし会

【日時】8月10日(土)

11時～11時40分

【場所】東部図書館 2階集会室

【内容】大型絵本『となりのたぬき』、  
大型紙芝居『あひるのおうさま』  
など

### 子どものためのコンサート

【日時】8月27日(火)11時～11時30分

【場所】東部図書館 2階集会室

【内容】歌とおはなし

【出演】アンサンブル詩ふおん

### ギャラリートーク

#### 「東部図書館に野田正明がやってくる!!」

【日時】8月31日(土)

16時～17時

【場所】東部図書館 1階フロア

【内容】展示「半世紀のニューヨーク・  
野田正明のせかい」を  
彫刻家野田正明さん本人が解説。

【申し込み】8月10日(土)10時から  
電話または来館で

【問い合わせ先】

東部図書館 084-940-2575

## 代表的な種類と身近な具体例

### 事例1) **ステレオタイプバイアス**

進路で理系に進んだ女性に「リケジョ」という言葉があるのは、機械工学や建築土木など就職先が まだまだ男性社会という背景があるのでは？と考えると、「理系は男子が選ぶもの」という先入観があるのではないのでしょうか？

このようにある属性（性別、学歴、世代、国籍など）に対する先入観や固定観念でみんなそうだと思い込んでしまうことを言います。

例・高齢者はスマホが苦手

・女性はきめ細やかな気遣いができて当然

### 事例2) **集団同調バイアス**

会議で提案された事案にどうかな？と思っていても、みんなが賛成しているから自分もつい

賛成してしまう。

このように多くの人がそう考えて行動しているなら、それが正しいと思い周りと同じよう行動してしまうことを言います。

自分も誰かも生きやすい社会であるためには、「無意識の思い込み」があるかもしれないと気づく、物事の事実を確認し根拠を持って判断する、正しい知識を広げる事が大切です。特に自分自身の行動や発言について、相手とは考えや行動が異なっても、まず相手の立場や視点に立って対応していくことを意識してみませんか。

アンコンシャス・バイアスとは、「無意識の思い込み」や「偏見」という意味で、私たちの社会に存在し、誰かの生き辛さにつながる可能性があります。誰もが幸せに暮らせる世の中であるために、考え合う機会となるよう今年度の記事として特集します。

## 人権問題講演会 野田正明が見た9・11 変わりゆくニューヨークの姿を伝える

【日時】 8月31日(土) 14時~15時30分

※講演後、展示品のギャラリートークあり

【会場】 東部市民センター ホール

【定員】 200人※先着

【申し込み・問い合わせ】 東部地域振興課

電話 084-940-2574

FAX 084-947-5658

メール [toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp)

【締切り】 8月28日(水)

福山市出身でニューヨーク在住の彫刻家 野田正明さんに、2001年9月11日に発生したアメリカ同時多発テロ事件で、ニューヨークに暮らす人々があの日どんな体験をし、何を感じたのか。目の前で多くの犠牲者を見て、変わりゆく現地の姿を語ります。



ニューヨーク・ソーホー  
撮影：野田正明

## 桜のよさよさ

これまで経験したことのない暑い日が続いています。熱中症警戒アラートが出される日もありますが、今年の4月から過去にない危険な暑さになることが予測されるため、熱中症特別警戒情報（アラート）が新設されました。県内すべての観測地点で翌日の指数が基準値を超える」と予測される場合、前日の午後2時に発令されます。その場合は、外出を避け、エアコン等を使用。こまめに休憩をとり、水分・塩分を補給、暑さに気付きにくい高齢者や子どもたちに周囲から声かけをする、運動は原則中止・延期することになっていきます。

今まで普段心掛けていた熱中症予防と同様の対応では不十分な可能性がありますので、準備や対応が必要です。対策としては、エアコンを付け、涼しい環境にすることが大切ですが、それができない場合（自宅のエアコンが故障した場合等）は、衣服を緩めること、皮膚を濡らしてうちわや扇風機で扇ぐこと、氷やアイスパックなどで冷やすことも考えられます。また、市町村が事前に指定しているクーリングシエルト（指定暑熱避難施設）が指定の時間帯に開放されますのでそちらに避難することもできます。ニューズやSNSから情報入手し、安全に夏を乗り切りましょう。

